

平成27年度

川崎市立川崎高等学校附属中学校入学者決定検査

# 適性検査Ⅰ（45分）

— 注 意 —

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は全部で2つあります。こちらから開くと**問題1**（全5ページ）になります。**問題2**（全5ページ）は反対面から始まります。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められたらんに、わかりやすくいいねいな文字で書きましょう。解答らんの外に書かれていることは採点しません。
- 4 解答用紙は全部で**3枚**あります。
- 5 計算やメモが必要なときは、解答用紙には書かずに、この問題用紙の余白を利用しましょう。
- 6 字数の指定のある問題は、指定された条件を守り、**問題1**はたて書きで、**問題2**は横書きで書きましょう。最初のマスから書き始め、文字や数字は一マスに一字ずつ書き、文の終わりには句点「。」を書きます。句読点「、」やかつこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きます。ただし、**問題1**の(10)は、その問題の「注意事項」の指示にいたがきましょう。
- 7 「やめ」の合図があつたら、と中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問題1 次のAとBの文章を読んで、あとの(1)～(10)の各問いに答えましょう。なおA、Bとも問題作成のため、一部文章を変更しています。

A

「ただし、『……とあります』が悪文であることはたしかだ」

山本明氏が新聞のコラムで、つよい調子で書いているから、これはこれ、と目を「あ」。

書き出しはこうなっている。

「ある雑誌のへん集後記を読んでいたら、その雑誌の常連執筆者の急死をいたんで、へん集長が、『心から御冥福をお祈りしたいと思います』と書いていた。

なぜ、『心から御冥福をお祈りいたします』と書かないのだろう。……」

この「……とあります」が若い人の間でよく使われるようになった

「い」について、二つの説がある、と山本さんは言う。

ひとつは、戦後の中学校のホームルームで意見を言うとき、「自分はこう思うが、みんなはどうですか。私は多数意見にしたがいますが」というニュアンスで使われた。その生徒が先生になって乱用が始まったというのである。

もうひとつの説は、大学紛争から発生したというもの。「参加者の主体性を重んじて、『リーダーは……したいと思うが、それに賛成の人は一緒

にやろう』としか言えないのだ」これが広まって一般に使われるようになったとする説である。

山本氏はそのどちらだともきめていない。そのあとへはじめの「ただし、『……とあります』が悪文であることはたしかだ」が来る。

山本さんも話しことばでの「……とあります」にはいくらか寛容のようである。文章にあらわれたのを問題にしているが、話しことばがすくなく文章を変えようとしている一例かもしれない。とにかく、おもしろい指摘で、ちよつと考えさせられた。

そのうちとんでもない昔のことを思い出した。もう四十年近くも前のことになる。われわれの中学校で珍しく生徒の弁論大会が開かれた。だが何をしゃべったか、すっかり忘れてしまったが、ひとつ鮮明に記憶に残っていることがある。

会が終わったあと、校庭の日だまりで数人の上級生が、私的な印しをのべ合っているのをそばで聞いていた。その中のひとり何を何となく尊敬していたらしい。その生徒の話し方を話題にすると、そばの人が、「あいつは話し方を知らん。AはBである」というように言い切っている。ナマイキだ」

こちらには、どうして、それがナマイキなのかわからない。びっくりしていると、その上級生はことばをついだ。

「それはあいつの意見なんだろう。AはBだと思います」としなくち

やいけない。いかにも自分の考えが真理みたいに。AはBであります」というのはケシカラン……」なるほど、そういうものか。それでその上級生がいつそうえらいように感じられた。

そういうことがあって、「う」をやわらげる「……とあります」には好感をもってきたから、山本さんの指摘はよけい新鮮であった。文章でも、わたくしは「思う」ということをよく使う。ひよつとすると、その雑誌のへん集長のような文章を書かないとも限らない。それが「悪文であることはたしかだ」なら、これは気をつけなさいといけなさいと自戒する。

いつか「すばらしいでした」という文章を見てびっくりした。「すばらしい」だけでいいのに、よけいなものをくつつけて妙な日本語にした。「すばらしい」だけではすわりが悪い、なにかつきたいとなると「すばらしいと思います」になる。こういう言い方がほかにもかなりある。語呂をよくするためにつける。ほとんど意味のない「思います」である。

【外山滋比古』『ことばの教養』(中公文庫)】

**B**

テレビのリポーターが、「では、これから〇〇したいと思います」と、何かを始めるシーン、よく見かけますね。なぜ、「これから〇〇します」と言わないのでしょうか。

「〇〇したいと思います」という文章は、まわりくどいですね。「〇〇したい」という自分の思いを表明しているだけ。「ダメだよ」と言われたら、中断できるニュアンスです。実際にはやめるつもりがないのに、「思います」と表現する。違和感をおぼえます。

これは、「う」を避ける表現です。「これから〇〇します」と言い切ると、特に女性リポーターの場合、「表現がキツイ」と視聴者に思われそうなので、それが恐くて、「思います」という一歩下がった表現を使っているのですね。無意識の表現でしょう。肝心のリポーターには、そんな自カクはないのでしょうか。

プレゼンテーションの冒頭で、「では、発表をしたいと思います」と発言すると、意地の悪い上司だったら、「思っていないで、始める」と突っ込みを入れてくるかもしれません(そんなに意地の悪いのは私だけ?)。

話は簡潔に。途中で他人から突っ込みを入れられるような表現は避ける。この大原ソクからいえば、「これから〇〇します」で、いいのです。「〇〇したいと思います」は、余計だと思えます。

【池上彰』『わかりやすく(伝える)技術』(講談社現代新書)】

【注】

- \* 1 常連…いつも来る客。
- \* 2 ホームルーム…学級活動。学活。
- \* 3 ニュアンス…言葉などの微妙な意味合い。
- \* 4 大学紛争…大学のあり方について、大学と学生の主張が対立した争い。
- \* 5 寛容…心が寛大で、よく人を受け入れること。
- \* 6 弁論…大勢の前で、自分の意見を述べること。互いに論じ合うこと。
- \* 7 自戒…自分で自分をいましめること。
- \* 8 「思います」…太字にして線を引いているのはBの作者

(1) 本文中の――線部①②のひらがなを、正しい漢字に直して書きましよう。

- ① へん集                      ② 印しよう

(2) 本文中の――線部①②のカタカナを漢字にした場合、同じ漢字を使用するものを、それぞれア～オの中から一つ選んで、記号で答えましよう。

- ① 自カク

- ア 人生の名言やカク言                      イ 神社仏カクを見る  
ウ 答えをカク認する                      エ 電車のカク安乗車券を買う  
オ 事件が発カクする

- ② 原ソク

- ア 無病ソク災を願う                      イ 規ソク正しい生活  
ウ 天体を観ソクする                      エ 友だちの意外なソク面を知る  
オ この道はソク度が決まっている

(3) 「あ」にあてはまる慣用句を、次のア～カの中から一つ選んで、記号で答えましょう。

- ア ぬすむ    イ そむける    ウ とめる    エ かえる  
オ そらす    カ つぶる

(4) 「い」にあてはまる言葉を辞書で調べると、次のようにのっています。辞書の前後の言葉や本文の文脈を手がかりにして、「い」にあてはまる漢字二字で書きましょう。

「検印」 検査・検定したしるしに印を押すこと。またその印。  
「い」 ある物事を引き起こすこと。    ↓    結果  
「現員」 現在の人員。

「広辞苑えんより」

(5) ー線部「そのあと」とありますが、「その」は本文中のどこを指しますか。「その」にあたる部分の、直後の五文字を書きましょう。

(6) 「う」にあてはまる言葉を、次のア～カの中から一つ選んで記号で答えましょう。二カ所とも同じ言葉が入ります。

- ア 断定    イ 危険    ウ 意味    エ 現実  
オ 厳格    カ 乱用

(7) 次のア～エの文で、本文の内容を正しく述べているものには○、誤っているものには×を書きましょう。

ア 「…と思います」という表現が若い人によく使われるのは、自分の意見をはっきり言うことがよいことだと、ホームルームで先生に教えられているからである。

イ 「会が終わったあと、校庭の日だまり」で話された会話の中で、「ナマイキだ」と言われたのは、**A**の筆者である外山さんのことである。

ウ **A**の筆者である外山さんが山本さんの発言を「新鮮せん」だと思った理由は、「…と思います」ということばが若者の間ではやっていることを教えてくれたからである。

エ 本来なら打ち切ることのできる「○○したいと思います」という表現を、テレビのリポーターが何の気なしに使っていることに、**B**の筆者である池上さんは疑問を感じている。

(8) たろうさんは、この **A**、**B** の文章を読み、次のようにノートをとりました。たろうさんのノートの空らんの一 ① 一 ② 一 に当てはまることばを、本文中から抜き出して書きましょう。

・山本明氏の意見

← 「...と思います」という表現は ① 一 ならば多少は受け入れられる。

・**A**の筆者外山さんの意見

← 「...と思います」という表現には好感を持っているが、これから気をつけよう。

・**B**の筆者池上さんの意見

← 「○○したいと思います」という表現は、話が ② 一 にならず、まわりくどくなるから避けていきたい。

(9) **B** の文章の最後に「○○したいと思います」は、余計だと思いません。」とあります。**B** の筆者は、なぜ「**思います**」に線を引き、太字にしたと思いますか。あなたの考えを四十字以上五十字以内で書きましょう。(句読点「。」やかつこなども一字に数えます)

(10) あなたが学校生活で相手に自分の気持ちを上手に伝えるためにどのような工夫をしますか。日ごろ気になる日本語の使用例を挙げ(本文中の例はのぞく)、自分の体験をふまえながら、後ろの「注意事項」に合うように考えや意見を書ききましょう。

「注意事項」

- 解答用紙2に三百六十字以上四百字以内で書きましょう。
- 原稿用紙の正しい用法で書きましょう。また漢字を適切に使いましよう。
- 題名や自分の名前は書かずに、一行目、一マス下げたところから書きましょう。
- 三段落以上の構成で書きましょう。
- 句読点「。」やかつこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きましよう。また、段落を変えたときの残りのマス目も字数として数えます。

これで問題1は終わりです。

**問題2** 昼休みに、けいこ先生と小学校6年生のはなこさんとたろうさんは、はなこさんが夏休みに家族旅行で行ったフランスのことについて話をしています。下の会話文を読んで、あとの(1)～(6)の各問いに答えましょう。

はなこさん：今年の夏休みにフランスに行ったの。

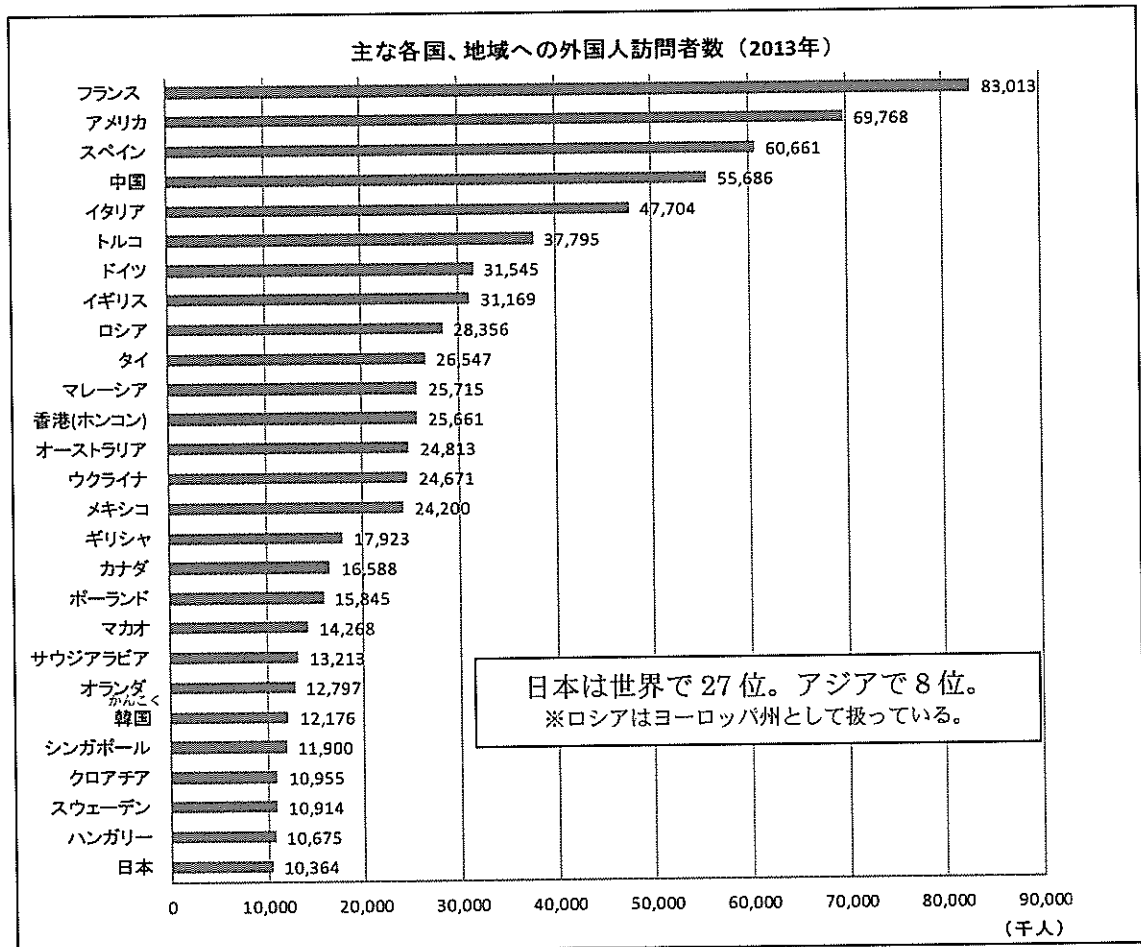
たろうさん：いいね。フランスは、世界一の観光大国だって聞いたことがあるよ。つまり、フランスにはたくさんの人が訪れているということだね。

はなこさん：その通りよ。旅行に行く前に、インターネットで旅行客について調べていたら、興味深いグラフを見つけたの。まずはこれ〔資料1〕を見て。このグラフは1年間に各国や地域を訪れた人の数を上位から表したものよ。これを見れば、多くの人はどこに旅行しているのかがひと目でわかるでしょう。

たろうさん：なるほど。フランスへの訪問者数が一番だね。ところで、日本は世界で27位、①アジアで8位とこの資料には書かれているね。

けいこ先生：その通りですね。2012年までの日本は30位にも入らなかったそうよ。このグラフの結果を見ると、2011年の東日本大しん災の影響も少なくなってきたようですね。

〔資料1〕



日本政府観光局（JNTO）「世界各国、地域への外国人訪問者数」より作成

たろうさん：そうですね。それじゃあ、フランスにはたくさんの方が訪れているから、国にたくさんの方がいるということになるのかなあ。

はなこさん：ちょっと待って。そうとも限らないのではないかしら。調べてみましょう。でも、どうすれば収入が多い、少ないということがわかるのですか。先生、教えてください。

けいこ先生：まずは「旅行収入」と「旅行支出」を調べましょう。「旅行収入」とは、例えば、フランスで考えると、外国の人たちがフランスに来て使うお金のことで、「旅行支出」はフランスの人たちが旅行先の国で使うお金のことです。だから「旅行収入」から「旅行支出」を引くとその国の「旅行収支」がわかります。つまり、「旅行収入」が「旅行支出」を上回っていれば収入の方が多ということになり、その状態を黒字といいます。下回っていれば収入の方が少ないということになり、その状態を赤字といいます。

はなこさん：先生、ありがとうございます。では、インターネットで調べましょう。

たろうさん：はなこさん、見つけたよ。そして主な9か国を〔資料2〕の表にまとめたよ。

〔資料2〕 たろうさんがまとめた表

| 主な9か国の旅行収入・旅行支出 (百万米ドル) |         |         |
|-------------------------|---------|---------|
| 国                       | 旅行収入    | 旅行支出    |
| フランス                    | 53,578  | 39,084  |
| アメリカ                    | 160,733 | 91,918  |
| スペイン                    | 55,944  | 15,311  |
| 中国                      | 50,028  | 102,000 |
| イタリア                    | 41,206  | 26,366  |
| ドイツ                     | 38,134  | 83,483  |
| イギリス                    | 36,613  | 51,473  |
| オーストラリア                 | 31,843  | 27,481  |
| 日本                      | 14,577  | 27,883  |

UNCTAD (United Nations Conference on Trade and Development) 2012年より作成

たろうさん：ところで、フランスのどこに行ったの。

はなこさん：フランスのパリよ。私は絵が好きだから、ルーブル美術館に行ったの。一日ではとてもまわりきれないほど広かったわ。有名なモナリザが展示されていて、すごく興味深かったわよ。

たろうさん：へえ。ぼくも実際に見たいな。ところで、フランスでいっばんに使われている言葉はフランス語だね。

はなこさん：そうよ。でも、フランス語がわからなくても理解できることもあったのよ。この〔資料3〕の写真を見て。フランスの公園の入口にはこのような標示があって、その公園を利用するためのルールが文字だけでなく絵でかかれていたの。

たろうさん：なるほど。この写真の下の方の絵だね。どの絵も、ひと目でその公園内で注意すべき行動がわかるようになっているね。

はなこさん：そうよ。フランス旅行の最終日に私が訪れた公園は、危険なことがなく、また犬の散歩が禁止されていたので、とても安心して静かにのんびり過ごすことができたの。

〔資料3〕





たろうさん：そうだ、はなこさん。ぼくたちの学校の正門前にも標示があるよね。③この標示は東日本大しん災を教訓に広まったそうだよ。

はなこさん：これは (い) という意味だよ。

たろうさん：その通り。ぼくたちの身近にも同じような標示がたくさんあるようだから、もっと調べてみようよ。

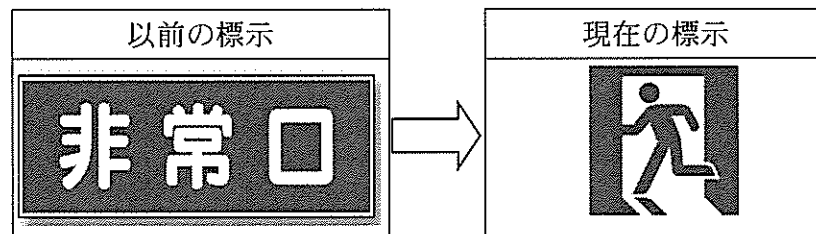
けいこ先生：はなこさん、たろうさん、このような表し方のことをピクトグラムといいます。ピクトグラムはヨーロッパで生まれて、1964年の東京オリンピックをきっかけに日本で広まったそうです。オリンピック開催前の1960年の日本への外国人訪問者数は、今の約1.4%で14万6881人でしたが、その後の訪問者の増加が考えられ、文化や風習の異なる人たちをどのようにもてなすか、大きな課題になったそうです。特に問題となったのが、言葉のかべです。〔資料4〕の「非常口」の標示を見比べてみましょう。

たろうさん：なるほど、これなら、外国から来た訪問者にも親切ですよ。

はなこさん：外国人だけでなく、漢字が苦手な子どもたちにもわかりやすいですね。

けいこ先生：以前の標示は文字を中心にしたものでしたが、現在の標示は文字ではなく図や絵でデザインされていますね。ピクトグラムの特ちょうとして、意味するものの形が単純にデザインされていて、ひと目で正確な情報を伝えることが大切だということですね。

〔資料4〕



たろうさん：そうだ。④ぼくたちの学校にある文字ばかりのポスターを、このようなピクトグラムに作り直そうよ。

はなこさん：いい案ね。それなら、来年度に入学してくる小学校1年生でもすぐにわかるわね。私たちだけではなく、クラスみんなに呼びかけましょうよ。

たろうさん：はなこさんは絵がじょうずだからね。うらやましいよ。

はなこさん：そんなことはないわよ。でも絵をかくことは好きよ。

けいこ先生：これは絵のうまさではなく、ピクトグラムの特ちょうを考えて作られているかどうかです。ところではなこさん、せっかくフランスで良い体験をしたのだから、フランスでの出来事をクラスみんなに、⑤総合的な学習の時間に発表してもらえないかしら。

はなこさん：えっ、でも……。

けいこ先生：5分間くらいよ。きっとみんなは聞きたいはずよ。

はなこさん：はい、わかりました。がんばります。

- (1) 下線部①に関連して、アジアの外国人訪問者数の順番を[表]にまとめました。下の[表]の(あ)にあてはまる国名または地域名を書き、[表]を完成させましょう。

[表] 訪問者数の多いアジアの国、地域

|    |          |
|----|----------|
| 1位 | 中国       |
| 2位 | タイ       |
| 3位 | マレーシア    |
| 4位 | 香港(ホンコン) |
| 5位 | マカオ      |
| 6位 | 韓国       |
| 7位 | (あ)      |
| 8位 | 日本       |

- (2) [資料1][資料2]の中からわかることとして正しいものを、下のア～エの中から1つ選んで、記号で答えましょう。

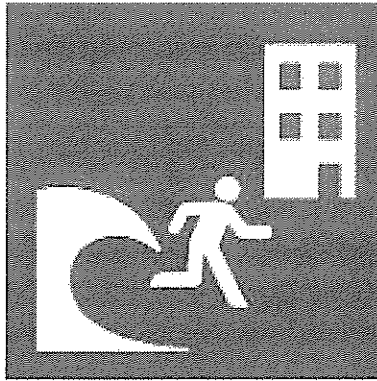
- ア フランスへの訪問者数は世界1位であり、フランスの旅行収支は赤字である。  
 イ アメリカへの訪問者数は世界2位であり、アメリカの旅行収支は2番目に多い。  
 ウ 日本への訪問者数はフランスへの訪問者数の約12.5%であり、その収支はイギリスやドイツと同じくらいの額で旅行収入よりも旅行支出が上回っている。  
 エ 日本への訪問者数はアメリカへの訪問者数の約14.9%であり、日本の旅行収支の額は赤字である。

- (3) 下線部②の公園に標示されているピクトグラムとしてあてはまるものを、次の①～⑧の中からすべて選んで、その正しい組み合わせを、下のア～カの中から1つ選んで、記号で答えましょう。



- ア ③-⑤-⑦-⑧                      イ ④-⑤-⑥-⑦                      ウ ①-③-⑤-⑥-⑦  
 エ ②-④-⑤-⑥-⑦                      オ ①-④-⑤-⑥-⑦                      カ ①-④-⑤-⑥-⑦-⑧

- (4) 下線部③は下の〔資料5〕のことです。文中の( い )に入る言葉を10字以上15字以内で書きましょう。〔資料5〕



- (5) 下線部④のように、下のア～ウのポスターを作り直します。あなたが作り直すポスターを下のア～ウの中から1つ選んで、記号を書きましょう。また、そのポスターを作り直し、工夫した点を書きましょう。

| ア    | イ   | ウ  |
|------|-----|----|
| 右側通行 | 静かに | 節水 |

- (6) 下線部⑤を行うときにふさわしくないことはどれですか。下のア～エの中から1つ選んで、記号で答えましょう。

ア 言葉だけでなく、表や写真などの視覚的な資料を使うと効果的である。

イ 発表の時間をこえても、準備したことをすべて話すことが大事である。

ウ 大きな声での発表だけでなく、強弱をつけて話す工夫も必要である。

エ 原稿はできるだけ暗記をし、一人一人の顔を見ながら発表することが大切である。

これで 問題2 は終わりです。





